

基本理念「のびてゆく川根の子」

本校は、正門横の石碑に刻まれている「のびてゆく川根の子」を基本理念として教育活動を推進し、本年度56年目を迎えました。本年度もこの基本理念を受け継ぎ、124名の子どもたち一人一人の「よさ」と「可能性」を大切に、その芽を最大限伸ばしていきたいと思ひます。

学校と保護者、地域が手を携え、皆様のお力をお借りしながら、教職員一同「子どものしあわせ」を一番に考えて教育活動を進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

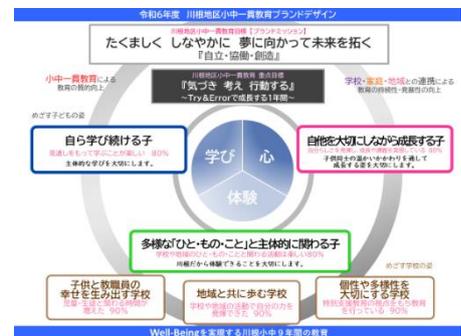
川根ブランドへ向けて「9・7・5・3」

子どもたちが生きる未来は、変化が激しく、予測困難な時代と言われています（「科学技術の急激な進歩」「生成 AI の登場」「急激な人口減少」「地球規模の環境問題」「低迷する経済」「多様な価値観に基づく人権の尊重」・・・）。その中で、自分のよさや可能性を發揮しながら、夢に向かって進んでいく（自立）。仲間や地域と協働しながら（協働）、よりよい人生や社会を創っていく（創造）。このような子供を育てていきたいと思ひます。

昨年度末、川根地区小中一貫教育を推進するために川根小中学校ブランドデザイン（右図）を策定しました。その中で小中共通の目標として「たくましく しなやかに 夢に向かって未来を拓くー自立 協働 創造ー」を設定しました。

未来社会を見据えた教育改革と川根地区のひと・もの・こととのつながりを大切にした特色ある教育を9年間積み重ね、川根ブランド（川根地区ならではの教育）を確立していきたいと思ひます。

本校では、ブランドデザインを受け、次の目標のもと教育活動を進めて参ります。



【学校教育目標（小中共通）】

たくましく しなやかに 夢に向かって未来を拓くー自立・協働・創造ー

【重点目標】

気づき 考え 行動する ～ トライ&エラー&トライで成長する1年間～

【育みたい資質・能力】

主体性・自己肯定感・思いやり・地域愛

上記の目標達成をめざし、7つのサポートポリシーのもと、5つのプロジェクトを推進します。プロジェクトを推進する上では、3つのチームポリシーを握りしめ、チーム力（組織力）を最大限發揮できるように努めます。

7つのサポートポリシー

- ① 子どもの發達の段階に合わせながら、学校生活のあらゆる場面で、子どもが自ら判断し、行動する機会（自己決定）を大切にします。失敗してもあきらめず、挑戦し続けることができるよう、トライ&エラー&トライの姿勢を尊重し、子どもの伴走者として寄り添い続けます。
- ② 子どもが、自分のよさや可能性を感じ、發揮し、自分の成長への自信をもてるように、一人一人を丁寧に見取り、勇気づけていきます。
- ③ 授業を「教師が教える場」から「子どもが学ぶ場」へと改善し、将来にわたって自立的に学び続ける力を育みます。
- ④ 一人一人の子どもにとって、安心して通える学校、明日が待ち遠しい学校であるために、全職員が全児童の担任として、一人一人の個性や特性に配慮した「居場所づくり」と「絆づくり」を進めます。
- ⑤ 学級活動や学校行事等を「子どもの『そうい（相異・創意・総意）』を生かす場」と捉え、一人一人や集団の願ひや思いを尊重し、それらの実現に向けて寄り添い続けます。

- ⑥ 学校、家庭、地域のつながりを大切に、学校への期待や願いに真摯に耳を傾けながら、川根小中学校と川根地区の持続的な発展を目指して教育活動を推進します。
- ⑦ 教師のしあわせが子どもの笑顔の源と考え、信頼される学校、働きやすい職場づくり、学び合い、高め合うチームづくりを進めます。

5つのプロジェクト

- 「学びのカイゼン」プロジェクト
一人一人の学びを大切に授業づくりの推進「自立的な学び手の育成」
- 「心のアンシン」プロジェクト
安心して学び・生活できる環境のづくり「自分も相手もみんなも大切にする子の育成」
- 「思いをカタチニ」プロジェクト
仲間と共に未来を創る力の育成「自分の思いを実現するために行動する子の育成」
- 「地域とトモニ」プロジェクト
川根ならではの体験的な学習・活動の推進「川根の魅力を満喫し、川根のひと・もの・ことが好きな子の育成」
- 「働くシアワセ」プロジェクト
生き生きと働き学び合うチームづくり「心身ともに健康で、やりがいと成長を実感する職員」

3つのチームポリシー

- チームワーキング「目標を握り続ける」「動きながら考える」「相互にフィードバックし続ける」
- 3C「Communication（通じ合って）Combination（息を合わせて）Collaboration（共に描いて）」
- 子どもの笑顔につながる働き方改革「先生のしあわせが子どもの笑顔の源」

【令和6年度グランドデザイン】

